

月/日	担当課(室)係名	電話	発表者名	その他資料配布先
10月19日(金)	兵庫県立歴史博物館 事業企画課	079-288-9011	次長 豊田幸雄 (事業企画課長 鈴木敬二)	県教育委員会記者クラブ 中播磨県民センター各報道機関

11月・12月のもよおしのご案内

開催日時	イベント	内容	会場	料金	受付期間・受付方法
10月2日(火) ～11月25日(日)	兵庫県政150周年記念展示 「スケッチでたどる近代兵庫の あゆみ」	スケッチの作者である沢田伸氏は、長年にわたり兵庫県職員(建築職)としてお勤めになり、この兵庫県立歴史博物館の建設もご担当されました。今回の展示では沢田伸氏のスケッチにより、兵庫県内において明治から昭和・戦時中頃までに建てられた建築物や土木構造物、山間の風景やなつかしい景観などを紹介することにより、兵庫の近代のあゆみをたどります。	兵庫県政 150周年記念 展示室 (歴史工房)	無料	
10月6日(土) ～11月25日(日)	特別展「ほろよい・ひょうご —酒と人の文化史—」	兵庫には酒造りにゆかりのある地域が多く、様々な人が「ひょうご」の酒の発展を支えてきました。特に、江戸時代には伊丹や灘地域の酒が「下り酒」として江戸で大人気となります。酒造家たちは様々な工夫を重ねながら酒を造り、飲み手もまた趣向をこらしてそれを味わいました。本展では、江戸時代を中心にその歴史と文化について紹介するとともに、絵画や文学資料などを通して、酒と人との関係を考えます。	ギャラリー	一般1000円 大学生700円 高校生以下無料	
11月4日(日) 13:00～16:30	ひょうご歴史文化フォーラム 「播磨のたたら製鉄研究の新展開 ～宍粟のたたら製鉄を中心に～」	今年度のひょうご歴史文化フォーラムは、宍粟のたたら製鉄を中心に、最新の研究成果を、地元宍粟市で発表します。2人の研究者が、鉄山の経営、幕府や山崎藩に関わる新出史料、製鉄遺構の調査成果などにもとづき、文献史学と考古学の双方の立場からわかりやすく講演し、討議します。	山崎文化会館	無料	
11月10日(土) 13:30～	特別展「ほろよい・ひょうご」 展覧会ガイド 解説:大黒 恵理(当館学芸員)	特別展「ほろよい・ひょうご」の担当学芸員が、展覧会の見どころを解説します。	ギャラリー	無料 特別展観覧料が必要	
11月10日(土) 14:30～	特別展関連イベント 菰(こも)巻き実演 実演:株式会社岸本吉二商店	樽に菰を巻いていくようすを解説つきで披露します。	ロビー	無料	・当日受付
11月11日(日) 13:30～15:30	特別展関連イベント 館長トーク 「つくるひと・飲むひと ～酒づくりの今昔～」 実演:丹波流酒造り唄保存会 鼎談ゲスト:田中 康博氏(田中酒造場 社長) 川石 光佐氏(灘菊酒造株式会社 社氏)	酒造り唄の実演と姫路の蔵元によるトークイベントです。	ホール	無料	・当日受付 ・定員100名(先着順)
11月18日(日)	友の会史跡ウォーク 「福崎を歩く」	今回の史跡ウォークは、神崎郡歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館、柳田國男生家、三木家住宅、神積寺を訪ねます。	福崎	300円 保険料・その他	・事前申込 受付期間は終了しています ・定員40名程度 友の会会員のみ
11月23日(金・祝) 14:00～15:30	歴史講演会③ 「姫路城に戻れなかった大名 —榊原家—『姫路日記』を とおして」 講師:工藤 茂博氏 (姫路市立城郭研究室学芸員)	歴代の姫路城主をみると榊原氏は酒井氏について長く在任し、通算で約50年にもなります。その間、姫路での出来事は『姫路日記』としてまとめられ姫路城研究にも欠かせません。その日記をおとして榊原氏と当時の姫路城を紹介します。	ホール	300円 友の会会員は無料	
11月25日(日) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	歴はく倶楽部 「万華鏡をつくらう」	のぞくとすばらしい世界が広がる万華鏡をつくります。	ロビー	100円	・当日受付 受付時間は①11:30まで②14:30まで 小学校4年生以下のお子様は保護者同伴 ・定員午前・午後各25名(先着順)

12月3日(月)～1月3日(木)は臨時休館および年末年始休館のため、もよおしはありません。